教育委員会を点検・評価

『平成２２年度香美市教育委員会施策に関する点検・評価報告書』の要旨についてお知らせします。

香美市教育委員会は、**平成22年度の教育行政方針**を基に、心豊かな人づくり、人権尊重を核としたまちづくりを推進し、市民が国際化・情報化・高齢化等の社会の変化に対応できる能力を身につけ、心身ともに健康で調和のとれた人間形成を自ら成し遂げ、自己実現が図れるように生涯学習の観点から努力することを目標としています。

そのための条件を整備し、『学びをたのしむ人々が育つ風土づくり』に努めるなど、時代に即した教育の確立を目指して実施した取り組みについて、自己点検・評価を行いました。

点検・評価の構成

点検・評価は、①教育委員会の活動②教育委員会が管理・執行する事務③管理・執行を教育長に委任する事務の3つの大項目を基本として、中項目、小項目に細分化し、項目ごとに点検・評価を行い、**点検・評価一覧表**を作成しました。

点検・評価の3つの柱

1. 教育委員会の活動
2. 教育委員会が管理・執行する事務
3. 管理・執行を教育長に委任する事務

評価の判断基準

点検・評価一覧表中の評価の判断基準は下の表のとおりです。

評価の判断基準

評価	判断基準
5	想定を大きく上回る成果が得られた。
4	想定以上に成果が得られた。
3	想定どおりの成果が得られた。
2	成果が得られたが、改善の必要がある。
1	成果が得られず、見直しの必要がある。

平成22年度　点検・評価一覧表（一部抜粋）

大項目：教育委員会の活動

中項目：支援・条件整備
小項目：学校訪問・支援　所管施設訪問・支援

取り組んだ内容：
教育委員が学校や保育園を訪問し、意見交換会などを実施しました。ほかの所管教育施設の訪問はあまりできず、学童クラブも一部のみの訪問となりました。

自己評価 3　委員評価 3

大項目：教育委員会が管理・執行する事務

中項目：教育に関する重要な工事の計画および執行に関すること
小項目：──

取り組んだ内容：
香美市すこやか子育てプランに基づいて、あけぼの保育園を建設しました。
小中学校では、耐震改修工事や太陽光発電システム設置工事を行いました。

自己評価 4　委員評価 4

大項目：管理・執行を 教育長に委任する事務

中項目：学校教育に関すること

小項目：生徒活動・児童生徒の指導

取り組んだ内容：
学校と教育支援センターが連携し、不登校児童生徒と保護者への支援や児童虐待の早期発見と防止に努めています。
２名のカウンセラーを配置し、児童生徒・保護者のカウンセリングを実施しました。また、特別な支援を要する児童生徒に対応するため、６名の支援員を配置しています。

自己評価 3　委員評価 3

小項目：保健衛生・福利厚生

取り組んだ内容：
教職員・児童生徒の心身の健康保持増進を図り、健康診断・環境衛生検査等を行いました。
給食時間に食に関する指導を行ったほか、学校農園での農産物の栽培・収穫・活用・調理・加工品の販売学習等を行い、ヘルスメイトを講師に迎え、料理教室も開催しました。

自己評価 3　委員評価 3

中項目：生涯学習に関すること

小項目：中央公民館

取り組んだ内容：
中央公民館では、市民大学・市民セミナー・パソコン教室・各サークルへの貸館事業等を行っています。また、将棋・コーラス等のこども教室や交流キャンプ等も実施しました。
地区公民館では、健康づくり・趣味・芸術・福祉に関する事業を行いました。

自己評価 3　委員評価 3

小項目：美術館

取り組んだ内容：
美術館では展示活動を中心に、生涯学習・芸術文化活動の場を提供しています。
平成２２年度の企画展へは11，526人の来館がありました。市民対象の教室・ワークショップ等のアトリエ事業・保育園出前授業・中学生職場体験学習受入等の教育関係事業のほか、地域との連携活動等も実施しました。

自己評価 4　委員評価 4

点検・評価委員 意見・提言（要約）

評価内容の客観性確保のため、点検・評価委員から、今後の教育行政の推進について、意見・提言をいただきました。

今年度の評価は、データから読みとれる事実を管理職の先生方と話し合い、事実とデータ分析の信頼性を確認し、評価した。

過去2度の評価で指摘されたいくつかの課題が解決されておらず、特に、評価点検活動を生かすためのPDCAサイクル※体制の確立については早急な改善が求められる。

次年度以降は長期的ビジョンの基に教育振興計画を策定し、教育目標を短・中・長期に区分し、評価の項目および内容を関連させる方法を早急に採用するべきであろう。

点検・評価活動が継続し、実質的効果を上げるには、指摘評価事項に関する改善点を数値または記述で明示することが望まれる。

項目別にみると、『1．教育委員会の活動』については、堅実に委員会活動が実施され、学校現場との関係性や研修計画などの実行に関しては評価できる。

『2．教育委員会が管理・執行する事務』については、堅実かつ的確に委員会が管理・執行する活動が実施され、昨年度に引き続き人事面・学校規模の再検討・耐震工事計画などの実行に関して高く評価できる。

『3．管理・執行を教育長に委任する事務』については、昨年度に引き続き、地域性を生かして教育内容や実践を支援するような取り組みや、学習指導・教員研修・問題を抱えた生徒へのカウンセリングの実践活動などについての諸活動は一層充実している様子がみられ、高く評価できる。

『就学前教育と小学校の連携』については、新しいプログラムやカリキュラム策定がなされ期待できるが、規模の大きい中学校では、さらなる追加支援が必要な状況である。

『生涯学習に関すること』では、多彩な取り組みが定着してきた生涯学習活動や、多彩な展示を開催している美術館なども高く評価できるが、管轄諸機関の連携や、工科大を含め、市内の教育資源や人材を効果的に運用する教育計画を立案する余地は、広く残されている。この点では、教育委員会と同大教職課程支援センターが協力して、大栃中学校の理科教育を中心に新規事業を企画調整したことは評価できる。今後これらの成果が上がるとともに、行政と大学がさらに協力し、学校現場との繋がりが深まるよう期待される。

点検・評価委員
高知工科大学教職課程教授　**中村直人**

点検・評価報告書の詳細は、香美市ホームページに掲載しています。

※PDCAサイクル＝事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つで、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の ４段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。